

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生涯発達論Ⅰ	1年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	明地 由紀子 ※
授 業 概 要					
<p>発達理念を中核に置き、各ライフサイクルにそって人間が生涯を通じてどのような発達をしていくのかを概説する。また、それらの発達段階に特徴的な身体心理社会的課題について自身の体験や事例を活用して学習する。生涯発達論Ⅰでは乳児期から思春期までをとりあげる。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 出生～乳幼児期、学童期、思春期の身体的・心理的・社会的発達の特徴について説明できる。 2. 各期の発達における今日的課題と必要な支援について関心を高める。</p>					
実務経験のある教員					
明地 由紀子、櫻井 照美、野上 聡子：看護職としての臨床経験をふまえて発達について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 人間を理解するための視点 2. 発達の定義 3. 人間の発達における共通性 4. 発達に影響を及ぼす因子 1) 内的因子：遺伝、病気 2) 外的因子 (1) 人的環境：家族、地域での人間関係、保育園・学校・職場等における人間関係 (2) 社会的環境				野上 聡子 ※
2-4	5. 人間のライフサイクルと発達、家族の発達 6. 胎児期：身体的・心理的・社会的発達の特徴 発達における今日的課題 発達に必要な支援 7. 乳児期（0～1歳）：身体的・心理的・社会的発達の特徴 発達における今日的課題 発達に必要な支援				明地 由紀子 ※
5-9	8. 幼児期（1～6歳）：身体的・心理的・社会的発達の特徴 発達における今日的課題 発達に必要な支援 9. 学童期（6～12歳）：身体的・心理的・社会的発達の特徴 発達における今日的課題 発達に必要な支援				櫻井 照美 ※
10-11	10. 思春期（12～18歳）：身体的・心理的・社会的発達の特徴 発達における今日的課題 発達に必要な支援				明地 由紀子 ※
12-15	11. まとめ（演習）				野上 聡子 ※
学 習 方 法					
講義 演習 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験 レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
<p>系統看護学講座 専門分野 看護学概論 茂野香おる 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔1〕母性看護学概論 木村元 編 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 奈良間美保 他 著 医学書院</p>					